

1. 略歴

1992年	University of California, Los Angeles Ph.D
1992年	京都大学大学院文学研究科博士後期課程
1992年4月	名古屋明德短期大学講師
1995年4月	日本福祉大学情報社会科学部助教授
1999年6月	名古屋大学情報文化学部助教授
2001年4月	名古屋大学大学院環境学研究科助教授
2006年10月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2010年8月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

社会心理学

b 研究課題

- 1) Mind reading and moral judgments
- 2) Beliefs in free will and self-regulation
- 3) Methodology and Science communication

c 概要と自己評価

概要

1) Mind reading and moral judgments : 近年の社会心理学は、私たちが道徳的事柄、公正さに関心を抱く「モラルエージェント」であるという人間観を提出している。私たちは、他者の心的状態（意図・動機・態度・感情など）の推論に基づき他者を「裁き」の視線で評価し、そこでの評価に基づき、「援助、非難、許し」などの道徳的な態度・行動を他者に向ける存在である、という。この研究課題では、このような私たちの他者理解の過程とその社会的帰結を、道徳的判断に焦点を当てて検討する。

2) Beliefs in free will and self-regulation : 本研究課題は、実験哲学分野とも連携しながら、自由意志信念や決定論的信念が自己制御的な行動や、自己・他者の行動理解に及ぼす影響について検討する。決定論的信念としては、遺伝子決定論、科学決定論、社会決定論など、これまでの諸研究で提出されているものを対象とする。そのうえで、自由意思信念・決定論的信念が、自己制御的な対人判断や行動を促進、抑制する心的メカニズムについて検討する。

3) Methodology and Science communication : 本研究課題では、「科学知・実践知・人文知」の融合領域として社会心理学を位置づけた上で、その立ち居地からの方法論の批判的検討、および、科学的成果を市民に伝達する際の諸問題についての検討を行う。

自己評価

これらの研究課題について、科学研究費などの支援も得て、活発にデータ収集活動を行い、その成果を学会発表、論文という形で発信している。その多くは大学院生との共同研究であり、後継者育成についても努力している。1) については、従来の知見を、「集団」「ロボット」「人工知能」など、人以外の対象に対する心的状態の推論にも拡張し、妥当性と応用可能性を検討するための研究プロジェクトを開始している。2) については実験的検討の成果を蓄積するとともに、「自由意志の有無」に関する科学コミュニケーションの影響という、3) にかかわる問題と有機的に連携させて、研究を展開している。これらの研究は、必要に応じて、科学哲学、美学、複雑系科学などの他領域の研究者と協同作業で進めている。また、認識論についての大規模な国際比較研究のチームに日本のリーダーとして所属しており、国際交流も積極的に進めている。今後は、さらに研究のネットワークを広げるとともに、他分野に対しても積極的な研究の成果発信に努め、融合的領域としての社会心理学の基盤形成に尽力したい。

d 主要業績

(1) 著書

編著、唐沢かおり、『人文知 I 心と言葉の迷宮』、東京大学出版会、2014

編著、唐沢かおり、『新社会心理学—心と社会をつなぐ知の統合—』、北大路書房、2014.3

(2) 論文

- 渡辺匠・唐沢かおり、「死の脅威による人間の社会的行動の変化：集団への帰属意識を題材として」、『死生学・応用倫理研究』、19、49-65 頁、2014
- 白岩祐子・唐沢かおり、「犯罪被害者の裁判関与が司法への信頼に与える効果——手続的公正の観点から」、『心理学研究』、85、110-117 頁、2014
- 渡辺匠・櫻井良祐・綿村英一郎・唐沢かおり、「自由意志・決定論尺度 (The Free Will and Determinism Plus Scale; FAD+) 日本語版の作成」、『パーソナリティ研究』、23、52-56 頁、2014
- 大高瑞郁・唐沢かおり、「父親との政治的会話と子どもの政治関与の関連：成人形成期の子どもを対象とした検討」、『山梨学院大学法学論集』、72、251-261 頁、2014
- 伊藤健彦・唐沢かおり、「就職活動における集団間の不公平が不公平是正政策への支持的態度や企業への原因推論に与える影響：獲得的地位に基づく不公平に注目して」、『産業・組織心理学研究』、27、117-127 頁、2014
- 白岩祐子・松本龍児・内堀大成・唐沢かおり、「裁判シナリオにおける非対称な認知：規定因と帰結の検討」、『人間環境学研究』、12、11-16 頁、2014
- Sakurai, R., Karasawa, K., & Watanabe, T., 「Unconscious goal activation occupies executive functions: Subliminal priming of the graphic stimulus.」、『Proceedings of International Conference on Education, Psychology and Society』、167-174 頁、2014
- Watanabe, T., Wakebe, T., Fujio, M., Itoh, Y., & Karasawa, K., 「The Automatic Activation of Retributive Motive When Determining Punishment.」、『Psychological Studies』、59、236-240 頁、2014
- Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Science, so close and yet so far away: How people view science, science subjects and scientists.」、『Recent Advances in Natural Computing』、57-67 頁、2014
- Watanabe, T., Wakebe, T. & Karasawa, K., 「The Influence of improper information on Japanese lay judges' determination of punishment」、『Asian Criminology』、9、285-300 頁、2014
- 渡辺匠・太田紘史・唐沢かおり、「自由意志信念に関する実証研究のこれまでとこれから：哲学理論と実験哲学、社会心理学からの知見」、『社会心理学研究』、31、56-69 頁、2015
- Machery, E., Stich, S., Rose, D., Chatterjee, A., Karasawa, K., Struchiner, N., Sirker, S., Usui, N., & Hashimoto, T., 「Gettier across cultures.」、『Noûs』、2015
- 白岩裕子・唐沢かおり、「量刑判断に対する増進・抑制効果の検討—被害者への同情と裁判に対する規範的なイメージに着目して—」、『感情心理学研究』、22、110-117 頁、2015
- Watanabe, T., Sakurai, R., & Karasawa, K., 「Free will beliefs and moral responsibility: Disbelief in free will leads to less responsibility for third person's crime」、『Asian Conference on Psychology and the Behavioral Sciences 2015 Official Conference Proceedings』、423-431 頁、2015
- 大高瑞郁・唐沢かおり、「成人形成期の子どもへの父親に対する態度を規定する要因：父親からの行動に関する子どもの認知に着目して」、『社会心理学研究』、89-100 頁、2015
- 渡辺匠・松本龍児・太田紘史・唐沢かおり、「一般的・個人的自由意志尺度 (Free Will and Determinism Scale; FWDS) 日本語版の作成」、『パーソナリティ研究』、228-231 頁、2016.2

(3) 学会発表

- 国際、Watanabe, T., Sakurai, R., & Karasawa, K., 「Determined to look cool: Disbelief in free will increases socially desirable responding.」、28th International Congress of Applied Psychology, Paris, France, 2014.7.11
- 国際、Watanabe, T., Sakurai, R., & Karasawa, K., 「The effects of free will beliefs in Japan: Disbelief in free will impairs overriding impulsive decisions」、22nd International Congress of Cross-Cultural Psychology, Reims, France, 2014.7.17
- 国内、唐沢かおり・戸田山和久・渡辺匠・片岡雅知・亀田達也・出口康夫、「自由意志信念と決定論的信念をめぐって」、日本社会心理学会第55回大会、北海道大学、2014.7.26
- 国内、橋本剛明・唐沢かおり、「勢力感が制裁反応に与える影響—カラシ入りシュークリームを用いた検討—」、日本社会心理学会第55回大会、北海道大学、2014.7.26
- 国内、二木望・櫻井良祐・渡辺匠・唐沢かおり、「実体性が両面価値的な集団への態度に及ぼす影響について」、日本社会心理学会第55回大会、北海道大学、2014.7.26
- 国内、松本龍児・櫻井良祐・渡辺匠・唐沢かおり、「自由意志信念が制裁・報復としての攻撃に与える影響」、日本社会心理学会第55回大会、北海道大学、2014.7.26
- 国内、渡辺匠・櫻井良祐・綿村英一郎・唐沢かおり、「自由意志信念が精神状態におよぼす肯定的効果」、日本社会心理学会第55回大会、北海道大学、2014.7.26

- 国内、小林麻衣子・白岩祐子・唐沢かおり・松井豊、「犯罪被害者遺族の視点から見た有用なサポート」、日本社会心理学学会第55回大会、北海道大学、2014.7.26
- 国内、櫻井良祐・渡辺匠・唐沢かおり、「実際の自我枯渇と自我枯渇の認知が制御資源の節約に与える影響」、日本社会心理学学会第55回大会、北海道大学、2014.7.27
- 国内、白岩祐子・唐沢かおり、「量刑判断に対する抑制効果の検討：「理性的」な裁判イメージと「感情的」な被害者イメージに着目して」、日本社会心理学学会第55回大会、北海道大学、2014.7.27
- 国内、岡田真波・唐沢かおり、「制御焦点の活性化が存在脅威管理に及ぼす効果の検討」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.6
- 国内、松本龍児・櫻井良祐・渡辺匠・唐沢かおり、「自己と他者に関する自由意志信念が攻撃行動に与える影響」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.6
- 国内、武井恵亮・唐沢かおり、「道徳的自己スキーマと制御焦点が道徳的行動意図に与える効果」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.6
- 国内、櫻井良祐・渡辺匠・唐沢かおり、「既達成の目標が果たすライセンス機能：自我枯渇時における自己制御過程に着目して」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.6
- 国内、橋本剛明・唐沢かおり、「不公正へのコントロール知覚と公正世界信念が謝罪への反応に与える影響」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.6
- 国内、竹村和久・坂上貴之・唐沢かおり・若山大樹・林幹也・羽鳥剛史、「社会的判断：測定の問題と現象論」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.7
- 国内、白岩祐子・唐沢かおり、「被害者の裁判参加が厳罰をもたらすとき：理性的な裁判イメージによる調整効果の検討」、日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会、東洋大学、2014.9.7
- 国内、唐沢かおり、「産業・組織心理学のアイデンティティ、可能性、社会的貢献：社会的認知の観点から」、産業組織心理学学会第30回大会、北海学園、2014.9.13
- 国際、Matsumoto, R., Sakurai, R., Watanabe, T., & Karasawa, K., 「The effects of belief in free will on retaliatory aggression」、The 16th Annual Meeting of the Society of Personality and Social Psychology、Long Beach, California、2015.2.26
- 国際、Futaki, N., & Karasawa, K., 「The relationship between essentialism and gender-specific system justification: The effect of the sense of personal control.」、Common-Sense Beliefs and Lay Theories Pre-Conference、Long Beach, California、2015.2.26
- 国際、Matsumoto, R., Sakurai, R., Watanabe, T., & Karasawa, K., 「Do belief in free will always restrain aggression?」、The 16th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology、Long Beach, California、2015.2.27
- 国際、Futaki, N., Watanabe, T., Sakurai, R., & Karasawa, K., 「Entitativity and ageism: When do we help or neglect elderly people?」、The 16th Annual Meeting of the Society of Personality and Social Psychology、Long Beach, California、2015.2.27
- 国際、Sakurai, R., Watanabe, T., & Karasawa, K., 「Fulfilled goal as license to indulge: The effects of ego depletion and recalling past goal achievement on self-regulation」、The 16th Annual Meeting of the Society of Personality and Social Psychology、Long Beach, California、2015.2.28
- 国際、Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「How perceived control and justice beliefs affect one's forgiveness toward an unjust other」、The 16th Annual Meeting of the Society of Personality and Social Psychology、Long Beach, California、2015.2.28
- 国際、Watanabe, T., Sakurai, R., & Karasawa, K., 「Free will beliefs and moral responsibility: Disbelief in free will leads to less responsibility for third person's crime.」、The 5th Asian Conference on Psychology and the Behavioral Sciences、Osaka, Japan、2015.3.27
- 国際、Watanabe, T., & Karasawa, K., 「The association between free will beliefs and stereotypes: People's belief in fatalism promotes gender stereotypes.」、The 5th Asian Conference on Ethics, Religion and Philosophy、Osaka, Japan、2015.3.28
- 国内、唐沢かおり、「フツウの人たちに聞いたことから概念を構築することについて：概念工学に向けて」、応用哲学会第7回年次大会、東北大学、2015.4.25
- 国内、戸田山和久・山口裕幸・唐沢かおり、「心理尺度と操作的定義を反省する」、科学基礎論学会、北海道教育大学札幌校、2015.6.14
- 国際、Ito, T., & Karasawa, K., 「The Effects of Company's University Favoritism on Causal Attribution and Social Consequences.」、11th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology、Cebu City, Philippines、2015.8.21
- 国内、伊藤健彦・唐沢かおり、「就職活動における企業の大学びいきが不採用の原因帰属に与える影響：日本と米国の学生を対象として」、日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会、奈良大学、2015.10.11
- 国内、松本龍児・渡辺匠・唐沢かおり、「自由意志信念が福祉政策への賛意に与える影響」、日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会、奈良大学、2015.10.11

国内、谷辺哲史・白岩祐子・唐沢かおり、「裁判員制度の目的を知ることが制度への態度に与える影響」、日本グループ・ダイナミクス学会第62回大会、奈良大学、2015.10.12

国内、橋本剛明・唐沢かおり、「特性的な勢力感が制裁と寛容に与える影響」、日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、2015.10.31

国内、伊藤健彦・唐沢かおり、「企業の大学びいきが不採用時の原因帰属に与える影響」、日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、2015.10.31

国内、櫻井良祐・渡辺匠・唐沢かおり、「既達成の目標によるセルフ・ライセンシング：社会的排斥時における自己制御過程に着目して」、日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、2015.10.31

国内、谷辺哲史・橋本剛明・唐沢かおり、「非生物に対する心の知覚と道徳的態度の関連」、日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、2015.10.31

国内、松本龍児・渡辺匠・唐沢かおり、「自己と他者についての自由意志信念が援助意図に与える影響」、日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、2015.11.1

国内、二本望・唐沢かおり、「心理的本質主義がジェンダーシステム正当性認知に及ぼす影響」、日本社会心理学会第56回大会、東京女子大学、2015.11.11

国際、唐沢かおり、「心の知覚と道徳的判断について」、日本科学哲学会第48回大会、首都大学東京、2015.11.22

(4) 受賞

国内、伊藤健彦・唐沢かおり、人間環境学研究会第3回優秀論文賞、人間環境学研究会、2014.6

(5) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、研究代表者、「集団心の可能性・妥当性・限界：機能主義的視点からのアプローチ」、2015

文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、分担者(東大内に代表者あり)、「道徳認知と社会的認知の統合的哲学研究」、2014～2015

文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、分担者、「行動意思決定研究を基礎とした多元的価値下での処方的社会心理学の構築」、2014～2015

文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、分担者、「科学画像の適切な使用に向けての基礎的・統合的研究」、2014～2015

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、応用哲学会、学術雑誌編集委員、2014.4～2016.3

国内、日本グループ・ダイナミクス学会、会長、2014.4～2015.3

国内、日本社会心理学会、常任理事、2014.4～2015.3

(2) 行政

省庁、消防庁、科学技術政策、火災予防審議会委員、2015.7～2016.3